

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

Kai・fukaiの原則の巻

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348 FAX 045-392-6043

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家ともに

5月末に梅雨入り宣言があったというのに、6月上旬に入ってもあまり雨はなく今年は空梅雨の様相です。夏の水不足が心配されるところではありますが、デイにとっては外出日和の日が増え、ワイワイとにぎやかに過ごしています。

そんな先日の朝、利用者の皆様をデイに送迎し一服しながら体温や血圧を測ってゆったりとしていると、ひとりのおばあちゃんが「歩いて家に帰ります」と玄関に向かっていきます。「えっ、もう帰っちゃうの！」ってボク的心情はよそに他のおばあちゃんも「これ（昼食用の野菜）を切ったら帰ります」と話されます。うー、どうしよう～。そういえばこの間、違うおじいちゃんにも「何をして楽しませてくれますか？」と尋ねられたことがありました（ってことは、楽しみが少ないんだよね…とスタッフ同士で話し合いを持ちました）。まずは、そんな気持ちのみなさん3人と車に乗り込み、話を否定しないように、嫌な思いをさせないようにお話を伺いながらドライブ。気分が乗ってきたところで、「どこかに行きましょう～」ということで三溪園に向かうことに決定。あいにくの曇り空でしたが、逆に暑すぎず、過ごしやすい天候でした。三溪園の広い敷地も、きれいな景色に見とれながら、意欲的に楽しみながら歩く事が出来ました。結局、お寺に戻ったのは14時前でそれからの昼食となりましたが行ったみなさんと一緒にお食事し、あつという間の日でした。

そう、ボクたち介護職の必須本、講談社出版の実用介事典によると・・・

快不快の原則【かいふかいのげんそく】 快適な状態を求め、不快な状態をさけようとする行動や精神機能の原則。快樂原則ともいう。幼児は快不快の原則に従っており、発達にとまって現実原則に従い欲求をコントロールするようになるとされる。高齢者では、老化によって現実原則に従うための欲求の抑制が弱くなり、快不快の原則に近づいていると思われるケースがよく見られる。～中略～スキンシップなどのコミュニケーションを惜しまないことで、「不快」をなくし「快」を増やしていくことが求められている。 とあります。

嫌な思いをしない・させない、そして楽しむということとはとても大事な事だと改めて痛感しました。



第2回サロンを開催しました



第2回サロンを6月14日金曜日の午後で開催しました。今回はお知らせしていたように季節のムース（マンゴー、イチゴ）と、さらに水羊羹を作りました。お菓子作りをしながら、みなさまと色々なお話や情報交換が出来て、とても楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。もちろん、その後みんなで作成したものを美味しく頂きました～！

1回目に続き今回も講師をしてくれた齋藤様はじめ参加された皆様、お疲れさまでした～そして、ありがとうございました！

次回は8月31日13:30～の開催を予定しています。

是非、ご参加下さい。

祝！サッカー日本代表・2014ワールドカップ出場～

やりました！6月4日サッカー日本代表対オーストラリア代表戦1-1の引き分けにてサッカーワールドカップ2014ブラジル大会の出場権を獲得しました。やー、ホント良かった、良かった、サッカー好きのボクは2002年日韓ワールドカップの日本対ベルギー戦(2-2の引き分け)はチケットがとれませんでした。が埼玉スタジアムの場外まで行きラジオを聞きながらサポーターと興奮を共にしました。2006年ドイツワールドカップは日本対ブラジル戦(1-4で敗戦)を現地観戦。ブラジルの強さ、世界との違いを痛感させられました。2010南アフリカワールドカップは日本戦のチケットが全てとれるも、飛行機の確保が難しく現地の治安に不安があり、結局行くのを断念。チケット代●万円はフイに(T_T)

さて、新しい介護の礎・三好春樹さんもサッカー好きです。そして「介護は野球よりもサッカーに近い」と話されていました。ボクも同感で、チームプレーと個と個が対峙する中で状況判断は、介護現場に通じるところが多いように思います。サッカーで守備においては主にマンツーマンデフェンスとゾーンデフェンスが挙げられます。介護現場において言うならば、マンツーマンはその名の通りその方一人に付き添い、ゾーンデフェンスはその場を担当する。攻撃においてもボールを保持しながら自分たちのペースで攻撃するポゼッションスタイル、相手にボールを持たせておいて奪った瞬間一気に攻撃するカウンタースタイル等様々で、これまた介護に通じるところがあるように感じます。

昨年4月より坊守から所長を引き継ぎました。所長の変更はサッカーで言うならば監督の交代と同じように思います。戦術や戦略、チームマネジメントも変わるでしょう。意識したことはなかったけど、振り返るとデイでも色々変わった所があったかもしれません。その中、今こうしてデイがあるのは皆様のご協力、ご支援のお陰です。ありがとうございます & これからもよろしくお願いします！

三根 周

～新しいスタッフの紹介です～

はじめまして。看護師の池田紀代美です。6月より入職の新人です。新人とは言っても、少々さびついた身体と頭をフル回転させスタッフの一員として頑張っております。出身地は佐賀県で横浜に来て37年になります。前職も通所系の施設で仕事をさせて頂きましたが、今回も知人を通じて善了寺さんとの縁をいただきました。「利用者一人ひとりの心にそった介護を！」という善了寺さんが実施してこられた姿勢は言うのは簡単なことですが、これを貫き続けることはとてもつもなく大変なことです。これを善了寺さんならではの方法和環境にささえられ、スタッフの皆さんの熱い思いと、そして、数多くのボランティアさんにささえられての日々であったと思います。ある利用者様が言うておられた「ここへ来る日が一番楽しみ！」と、この一言が私達介護職をしびれさせます。そして何より元気をもらいます。元氣と勇気をいただき、これからも頑張ってお参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。

そうめん流しのご案内

さて、毎年恒例・夏の風物詩のそうめん流しの季節が近づいてきました。今年は7/15(月)から7/20(土)にかけての昼食時に開催します。ご家族の皆様、ケアマネージャーの皆様、お気軽にご参加ください。

電話045-881-0348までご連絡、お待ちしております(^-^)

担当：吉田、溝口、三根

編集後記

さといもの芽が出ました。どんどん出てきました。そして、早くでた芽を人間に例えると、1歳のお誕生を迎える頃でしょうか？そして、あきらめかけていた他のさといもの芽が、遅れて、ちょこんと産声を上げました。また、いち早く、芽が出たのにもかかわらず、なかなかフタバが育たず、半ばあきらめながらも、必死に水をあげ続けていたら、かすかにフタバが付いて来たものもあります。野菜作りは、子育てとよく似ていますね。「出来の悪い子ほどかわいい」という言葉を聞いたことがあります。伸び伸び育っている芽は安心なんです。それより、遅出の芽は毎日毎日、大丈夫かなあと、気になるし、1葉増えるごとに、心配から愛着へ変わってきます。秋には、立派な芽の方が沢山のお芋を付けてくれ、やっぱりお前がいてくれて助かったよ、安心だったよと、感謝するでしょう。そして、遅出の芽の方にも、お前の成長を見ているのは楽しかったよと、感謝するでしょう。信頼のある関係性は、人とも動物とも、植物とも、自分の心を開く所からはじまるのでしょね。

坊

ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。

いつもあたたかい気持ちと笑顔を持ちよって寄り添って下さることにあらためて感謝申し上げます。

中嶋芳江	秦野かねよ	安藤信子	竹中秀子
山下トキエ	西岡美都里	寺島美代	渡井敏子
朝倉好子	別府与志子	濱崎芳子	市野和歌子
弓削福子	矢口和子	秦野雅子	飯島慶子
米村正男	小寺久枝	江田峯子	中島雄子
村井ヒテ子	江尻伸子	鳥巢スエ子	牛島寛子
橋本淑子	長澤チヨ子	福寿貴美恵	犬塚照夫
松村節子	秦野宣子	大金スエ子	梅本忠男
小林ミエ	林ヨシ子	松田良子	森谷ミヨシ
山田ヒロ子	増村隆	穴山よしお	乾隆子
遠藤俊男	磯地正人	内田佐知子	砂川元枝
長岡綾子	小島典枝		

敬称略